

Re: しもごもり

ようこそ下小森へ

下小森
暮らし
再発見

わたしたち

下小森編集委員が

ご案内します



中野区長



平岡さん



坂田さん



中西さん

Re: 1. 下小森のご紹介 -ここが私たちの住む下小森です-



中野区長

ゆったりした時間が流れる下小森
 ほっこりしたアット・ホーム なあたたかさを感じる下小森
 ぐるり、めぐって見たら意外な発見がある下小森

そんな下小森の暮らしを紹介するガイドブック「Re:しもごもり」を手に、
 下小森に来てはいよー。

●「西原村」ってどんなところ？

熊本市内まで車で約40分と通勤圏内で、俵山を越えれば阿蘇へもすぐ行ける場所にありま。 「東京から一番近い村」と言われており、阿蘇くまもと空港へは車で10分、空港から熊本市内へリムジンバスが約20分おきに出ており、便利な位置にあります。
 人口 6,751人 世帯数 2,635世帯(平成31年3月現在)



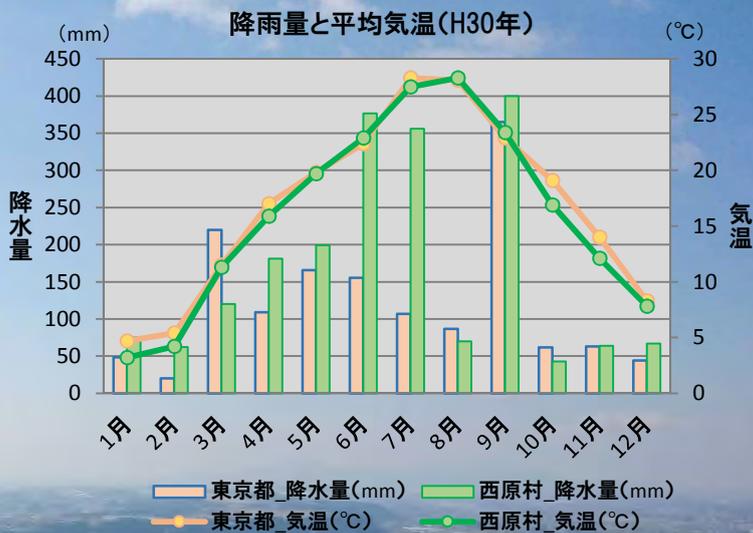
阿蘇くまもと空港



快速バス たかもり号
 (熊本-阿蘇くまもと空港-高森町を結ぶ)

●気候

東京に比べると、冬の1~2月が少し寒くなります。
 夏の6、7月は割と雨が多いです。



資料:国土交通省気象庁ホームページ

下小森はココ

俵山からの見た西原村の風景

●「下小森」ってどんなところ？

村役場などの多くの公共施設やお店が歩いて行ける距離にあり、西原村の中でも便利な位置にあります。西原村で一番早くに公民館ができ、移転用宅地となる畑では文化財が見つかるなど、昔からの歴史がある集落です。236人、86世帯(平成31年3月現在)が暮らし、みなさん人が良く仲がよい集落です。



依山と風車の景色

ここからの村の景色を眺めるだけで、元気が出てきます。



どんどや

1年初頭のみんが集まる地域行事。油揚げやおにぎりを焼いて食べます。



二ノ宮神社(小森神社)

住民の心のよりどころで、初詣や氏神祭り、例大祭などが行われます。現在、文化財指定を受け、修復中です。



遺跡発掘

縄文時代・弥生時代の土器などが発見されました。調査後は、移転用宅地、公園、公民館・消防詰所が整備される予定です。



夕日

空が広く、西へ沈む夕日は多くの人を魅了します。



Re: 2. 下小森の好きなところ？ - 集落のみなさんにお聞きしました -

下小森には、様々な魅力があります。集落のみなさんそれぞれが感じる「下小森の好きなところ」を聞いてみました。あなたも下小森の「お気に入り」を見つけてみてください。



「神様がいます」
黒田みずき・みわの・すわの



「みんな仲がいい」
中西美香・好・巧



「笑」
片山秀子・吉川かずよ



「時間が止まる村」
渡辺鎮男



「人のいいところーいざという時に協力してくれる」
藤本勝矢・一畑・郁美・英城



「笑家 ぜひおねがいます」
渡辺義之



「皆優しい」
中野映美里・彩士郎・虹映



「みんな優しい人達ばかりです！' 依山がとてもイイです」
松岡寛泰



「くもんがんばる」
塚元利浩・啓子・良江・達月



「下小森という場所、ここに住むすべての人が好き」
「人と人のつながりと地域の豊かさ」
中野敏弘・恵美子



「一致団結できるところ」
久保田誠・和美・護・輝



「人柄」
高崎直幸



「セブンイレブンやコメリもある」
中野良一



「一杯飲むかあ〜家族の絆よ」
藤本たつひろファミリー



「絵が大好き」
久保田利和・西村あいか



「みんなの和」

松岡春雄・須藤香・高田静雄・カズミ



「多くを語らなくても、わかりあえる」

須藤文代・沙月



「住めばみやこ 温情ゆたかな下小森」

藤本健二

下小森 移住者 インタビュー

先輩移住者に、 下小森の印象を お聞きしました



「みんな暖かく迎えてくださることがありがたいです」

伊澤隆嗣・和美・琥太郎・桜子・桃子

伊澤隆嗣さん・和美さん

隆嗣さんは群馬出身のサクソ奏者。和美さんは埼玉出身。東日本大震災を期に、俵山の風景に惹かれ、埼玉から西原村へ移住。



和美さん

東日本大震災の時は埼玉に住んでいて、地震もすごい揺れましたけど、子どもたちが小さかったので、放射能の影響が嫌で移住しました。



隆嗣さん

ある程度広い土地でポロポロでもいいから家があって、安く買えて庭で畑ができてっていうところを探して、全国回っていたんです。それで、たまたま高森に受け入れ先があって、遊びに来て、そこの人が西原村の風流(カザル)さんを紹介してくれた。そこから風流さんの前の住居を紹介してくれて、そこが下小森でした。高森の方からトンネルを通過してこっちに来ると、トンネルを抜けた瞬間に風車が並んでいるじゃないですか。自分たちは計画停電を経験しているし、原発というものに不信感があって、そういう流れでその景色を見たんで「こっしかないな」という景色でした。



和美さん

熊本地震の時のことですが、田舎だからできたことだと思うんですけど、あそこにはおじいさんやおばさんがいてとか、そういうのが分かっているじゃないですか。それがあつたからこそ、消防団とかで救助できたところがあったと思う。都市部では絶対無理ですよ。近所の人との付き合いとか少しでも日頃からしておくということが、何かあった時に力を合わせることに役立つ。田舎も都会も知っている被災した私達だから伝えられることってあるんじゃないかなって思います。



隆嗣さん

西原村は、食べ物おいしいですし、空気もいいし、水もおいしいっていうのがすごく大きいですね。「熊本の人って新参者を受け入れない」みたいなことをよく聞くんですが、僕たちが下小森に来た時に、当時の組長だった久保田誠さんがすごく音楽オタクの人で、彼がいろんな人に「すごいサクソプレイヤーきたから」と言ってくれて、世話してくれたんです。それもあってか、皆さんによくしてもらってですね。部落の人がみんなやさしいところとかも大好きです。



「夕日がきれいです」

吉野憲一郎・南・柚希・希歩

下小森のお隣

西原ニュータウンに移り住んだみなさんの下小森のイメージ



「自然がいっぱいで、カライモもおいしいです」

左座絵利・ひな・寛仁



「空気がきれいで、ごはんがおいしいです」

高橋秀一・理栄子



「西原村は人がやさしいです」

三井千波・大輝

あるある体験談

思っていたより
意外と便利！
空港まで車で10分、大きなショッピングセンターはありませんが、日々の生活に困ることはありません。

- 同じ姓の人が多くて、最初は誰だかわからない。(30代女性)
- 真冬は、都会よりずっと冷えるし、寒いです。(40代男性)
- 田舎だけど24時間営業のコンビニやホームセンター、居酒屋も近くにある。(40代男性)
- みんな歌が大好き。カラオケ大会になるとみんな燃える。(40代男性)
- 山西小学校だけでなく、河原小学校へも通学できる。保育園も近い。(40代男性)
- 俵山の野焼きは、春の風物詩。(60代男性)

Re: 3. 集落暮らしの豆知識

都会とは違う様々な風習や文化がある集落暮らし。移住した後、「こんなはずじゃなかった！」とならないように、下小森の集落の行事や決まりごとなどをお伝えします。

豆知識 その1 集落行事について

1年を通じて、毎年恒例の行事があります。1番のメインイベントは何といても、原野火入れ。俵山の山肌に火をつけ、枯れ草を燃やして新芽を育みます。これがないと、春が来ません。

1月のどんどやや、秋のふれあいカラオケ大会は、下小森の子どもからお年寄りまでみんなが集い、歌って踊って、お酒を飲んで、みんなで盛り上がります。

主な集落行事

春	3月	原野一斉火入れ	春の訪れを告げる西原村の風物行事。俵山の山肌に火をつけ、枯れ草を燃やして新芽を育みます。
	4月	厄入り厄晴れ	小部落(小集)から役員が参加し、神社でお祓いをしてもらいます。4月上旬に開催。
	5月	春の道路公役	村道沿いや川沿いの草取りを行います。1世帯から1人参加します。
夏	8月	子ども会 レクリエーション	子どもたちと一緒に、レクリエーションを楽しみます。
秋	9月	秋の道路公役	春と同様に、草取りを行います。
	11月	ふれあい カラオケ大会	子どもからお年寄りまで、カラオケや踊りを楽しみます。
		二ノ宮神社例大祭 (鬼神殿)	役回りで担当になった世帯はしめ縄づくりを行います。神楽も舞われます。
12月	下小森地区原野組合 の防火線切り	3月の原野火入りの前に、延焼を防ぐために草を刈ります。	
冬	1月	初寄り	その年の役員や行事などを決める集落の総会です。年1回開催。初寄りの後は慰労会もします。
		出初め式	村内の消防団が一同に会し、消防訓練を行います。にしはら保育園の幼年消防クラブの通常点検も必見です。
		どんどや	正月飾りなどを家々から持ち寄り、田畑に積み上げて燃やして、無病息災・五穀豊穡を祈願します。
		氏神祭り	氏神様の前で、鯛・塩・御神酒をお供えます。当番になった小組合が料理を準備し、参加者にふるまいます。



原野一斉火入れ(3月)



出初め式(1月)



どんどや(1月)



氏神祭り(1月) ※写真は仮神殿



ふれあいカラオケ大会(11月)

集落の決まりごと

集落の区分のこと

下小森の集落は大きく上組・下組に分かれ、さらに8つの小組合に分かれます。現在でも葬儀の受付は小組合で行うなど、隣近所のつながりがあります。



会計はいずれかの組長が兼任します。前区長が監事を担当します。

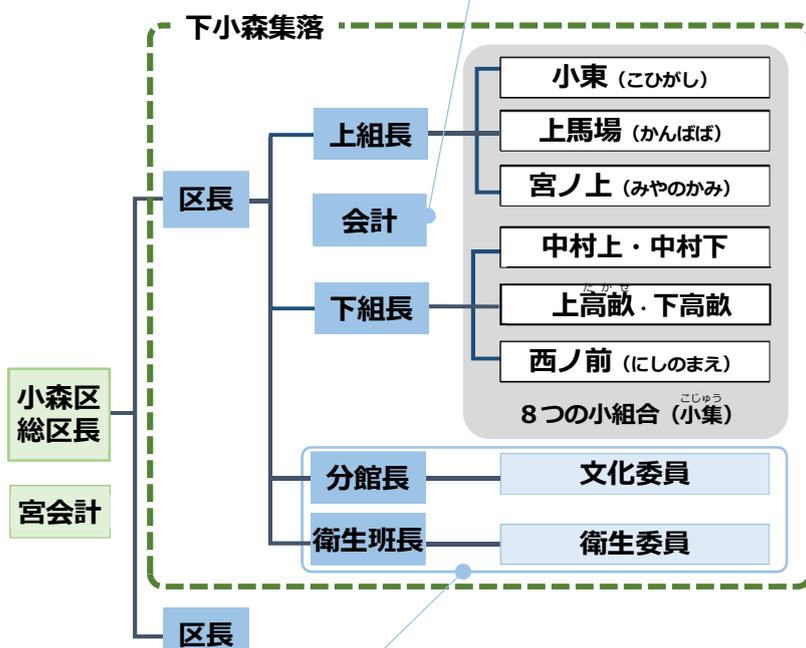


坂田さん

小組合のことを小集（こじゅう）や小部落（こぶらく）とも言い、小組合でお花見や小旅行に行くところもあります。

集落の組織・役のこと

区長のもとに上組・下組の組長、会計、分館長、衛生班長がいます。年に1回、全世帯が集まる総会＝初寄りを開催し、選挙で各役を決めたり、1年間の行事などを決めます。



■初寄り（集落の総会）

各世帯から最低1名参加します。

- ・日時：1月3日 午前9時～12時
- ・場所：公民館（※平成31年現在、公民館を再建中のため、のぎく荘で開催）
- ・内容：当年の役員決め、会計報告、年会費の徴収、規約の改定など

※初寄りの終了後、親睦会が行われます。役員のおさま方が料理をふるまいます。

分館長：公民館活動、公民館の維持管理
衛生班長：前々区長が担当します。

8つの小組合ごとに、文化委員と衛生委員を決めます。

文化委員：球技大会、スポーツフェスタ、ふれあいカラオケ大会の企画運営

衛生委員：健康診断、赤い羽根募金のお知らせ

小森区のこと

西原村の中にはいくつかの区があり、下小森集落はその一つ「小森区」に属しています。小森区の総区長は小森区内の区長が持ち回りで行います。

■二ノ宮神社の管理

- ・小森区で担当者を決め、管理しています。宮会計（賽銭箱の管理）も担います。
- ・清掃は下小森の老人会が行っています。
- ・縄結い、しめ縄づくりは、小森区内で持ち回りで行います。



集落活動のこと

道路沿いの草刈りや野焼きなどの活動を「公役」と呼び、集落のみなさんで集落環境をまもっています。

■公役など

<道公役>

- ・年に2回（春・秋）実施。
- ・県道沿い、集落内の道路沿いなどの草刈りを行います。

<山公役>

- ・年に1回、野焼きを行います。

※75歳以上の方には公役はありません。



集落の様々な活動を維持するため、毎年、各世帯が区費、消防費、公民館費を納めます。

■費用

- ・区費：年間6,300円（加入費なし）
- ・消防費：年間3,000円
- ・公民館費：年間500円～1,000円

※平成31年現在

下小森にまつわる各団体

※平成31年現在

老人会 (敬老会)	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の方が加入します。年会費1,000円。75歳以上は敬老会に加入します。 ※85歳以上は年会費は免除。 ・神社の清掃、ふれあいまつり、七夕時の竹の切り出しなどを行います。
子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ・どんどや、夏のレクリエーション、廃品回収、七夕、ふれあいまつり、魚つかみ取り、映画上映、6年生のお別れ会などを行います。
消防団	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳になると勧誘があります。 ・村内には8分団あり、下小森は第2分団の第2班になります。定員は11名。 ・広報（年3回）、出初式、非常呼集訓練、操法競技・防災訓練（2年に各1回）を行います。 ・消防費3,000円/世帯
小森水道組合	<ul style="list-style-type: none"> ・小森水道の維持管理を行っています。 ・加入金：15万円/世帯（上水道の引き込み工事は自己負担） ※将来、村営水道に統合する予定です。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにも、原野組合、土地改良組合があります。

※婦人会は、平成26年まで活動していましたが、現在は活動していません。

消防団に入ると、男性陣がみんな顔見知りになって、仲良くなります。



平岡さん



ワンポイントアドバイス

- 集落内の活動に参加することで、いろんな方と親しくなれるし、仲間もできます。
 - 冠婚葬祭があると、公役は免除になります。
- <不足金について>
- ・初寄り、公役に出られない世帯は、不足金を払うことになります。
 - （75歳以上の方についてはありません）
 - 困った時は、小組合長に相談したら、親切に教えてくれるはず。まずは1度来てみなっせ。

豆知識 その3 暮らしの便利帳

下小森地区は、村役場をはじめとする公共施設や、医療、福祉、飲食・物販、教育施設が歩いて行ける範囲にあり、生活にとっても便利です。

交通

県道 28 号熊本高森線が通り、付近にバス停が 3 か所あります。熊本空港まで車で 10 分、熊本市中心部まで車で約 50 分のアクセスです。



快速バス たかもり号

子育て・教育

徒歩圏内に村立にしはら保育園と西原中学校があります。小学生は山西小学校に通学しています。希望すれば河原小学校への通学も可能です。



にしはら保育園

高校

西原村からは熊本市内や大津町の高校に通学する生徒さんが多いです。



熊本県立大津高等学校(大津町)

医療・福祉

村内には 4 つの医院があります。最寄りの二次救急病院では、熊本セントラル病院(大津町)、阿蘇立野病院(南阿蘇村)があります。社会福祉協議会・のぎく荘もすぐ近くです。



熊本セントラル病院(大津町)

地区の施設

公園・公民館・消防詰所は、移転用宅地周辺に整備予定です。

二ノ宮神社(小森神社)は、小森区の神社で、歳旦祭(初詣)、氏神祭り、例大祭、大祓式など、集落の伝統文化行事の中心で、集落のシンボリック的存在です。



二ノ宮神社

生活利便施設

徒歩圏内には郵便局、コンビニ、お弁当屋、ホームセンター、ガソリンスタンドのほか、食事処・居酒屋もあり、生活の利便性が高い地区です。



コンビニ・お弁当屋



笑家の店主
渡辺さん

← 至 益城町、阿蘇くまもと空港
県道堂園小森線

飲みかたをする時は、
笑家へ！

あげみち
笑家

コンビニエンスストア

西原商工会

構造改善センター

永広医院(内科)

西原中学校

にしはら保育園

生涯学習センター山河の館

体育館

西原村

にしはら地域包括支援センター

たんぼぼハウス

桑田歯

村民グラウンド

久保田自動車

県道熊本高森線

車のことでお困りごとがあれば
久保田自動車へ！時々、ライブ
もやってます！



久保田自動車の久保田さん

手紙や荷物を送る時は小森
簡易郵便局へ。村役場の目
の前にあります。

公共施設

西原村の中心部に位置し、付近には村役場、駐在所をはじめ多くの公共施設、福祉施設、教育・文化施設が立地しています。



下小森周辺マップ



インフラ

●インターネット

各社からインターネット光回線サービスが提供されています。

●上水道

阿蘇の湧水を活かした天然のミネラルウォーターです。(問合せ先：村復興建設課水道係、小森水道組合)

※地区内には井戸のあるお宅が5件あります。
熊本地震の際には非常用の生活用水として大きな役割を果たしました。

●下水道

浄化槽を設置してください。村からの補助があります。(問合せ先：村復興建設課水道係)

●電気・ガス

電力・ガスの自由化で、ご家庭で決めることとなります。電力販売会社、ガス販売会社へお問合せください。

●ごみ

集落内に4か所ごみステーションを設置しています。指定された日に指定の袋で出してください。

●防災

村の防災行政無線放送を家庭で受信できる「戸別受信機」を無償で貸与しています。(問合せ先：村総務課)

食品などを売っています。今は小森仮設団地の中で営業していますが、将来的に移転用宅地にお店を移します。



長屋商店
の長屋さん

下小森の人がやっているお店にぜひ、行ってみてね。



中西さん

下小森アーカイブ

今から数十年前の下小森は、どんな集落だったでしょう？ 区長や集落のみなさんのお話をもとに、昔の下小森の様子をいくつか拾い集めてみました。

<施設・歴史資源>

■下小森公民館

・西原村の中で、一番最初に建設されたのは下小森公民館です。昔は結婚式も行われるなど、集落行事の会場、大人の憩いの場であり、いわば住民にとって「多目的ホール」でした。熊本地震で被災して倒壊し、現在、移転用宅地・公園と隣接する場所に再建中です。

■中次酒造場

・明治維新の前後にかけて、旧小森村には酒造場があったとされています。

■雑貨屋

・下小森には、昔4件の雑貨屋がありました。飲料、食品のほか、日用雑貨を扱っていました。雑貨屋には、当時普及の少なかった電話があり、各戸へ連絡があると、有線放送で呼び出しが行われていました。くじ付きのお菓子も置いてあり、子どもたちが集まっていました。

■山伏塚（やんぼしづか）

・「はやまさぶろう、はいたか、てんじん」と言って、江戸か明治の頃に三人の兄弟が点々と亡くなったとされる塚があり、その上に登ったりすると足を怪我する、罰が当たるなどの言い伝えが残っています。



山伏塚



下小森公民館（昭和30年代）



公民館での結婚式
（昭和40年代）



雑貨屋（坂田商店）



坂田商店に集まる子ども達（昭和50年代）

< 娯 楽 >

■ クラブ（青年団の夜会）

- ・数十年前までは、各集落にクラブという名の集まりの場がありました。夜になると青年団メンバーが集まり、酒を飲んで語ったりと、社交場となっていました。戸板を布団代わりにして寝ていた人もいました。

■ 映画上映

- ・夏には、民家の裏庭では映画上映が行われました。昇降棒や鉄棒にロープを通してきつく縛り、それに白い幕を吊るして、急ごしらえのスクリーンに子どもや大人は日常を忘れて楽しみました。

■ 小旅行や花見

- ・昭和40年代（今から50年ほど前）、近所の方と一緒に1泊2日の小旅行、花見を楽しみました。日頃から忙しいお母さん達にとって、年1回の娯楽ともいえる行事でした。



村の運動会（昭和40年代）



お花見（昭和40年代）

< 昔の遊び >

■ 堤や川での魚捕り

- ・もともと西原村のどこの川にも小魚が多かったようです。ハエ、アブラメ、シイツキドンコ、ナマズなどが多く、時にはアユも捕れました。春の水がぬるむ頃はハエ釣りがタ方の楽しみになりました。水のきれいな川には魚の上り下りする姿が川岸から見えました。

■ 堤での水泳

- ・当時、堤の水はきれいでした。夏には、下小森・万徳・名ヶ迫の子ども達は下小森の堤で泳ぎ、腕を上げていました。魚のつかみ取り大会も行われていました。

■ ホタル狩り

- ・5月の夕暗時には川端や田などにホタルが出て、長い笹竹で追いまわして捕まえていました。

■ 木の実拾い・木登り

- ・秋にはいろいろな木に実がなり、栗・しい・ぎんなん・むかご（山芋の子）を拾ったり、桜実・桑の実・山ぶどう・アケビなどは最も喜ばれました。なし・かき・みかんなどは各家に植えられていました。
- ・初秋の頃は大きなえの木に登ったり、田植えの刈入れが終る頃は川端や家近くの木に登り、むくの実を食べるのも子ども達の楽しみの一つでした。大きな木に登ることは誇りでもありました。



下小森の堤



昔はこぎゃんでした。今ではなくなってしまうものもあるけど、懐かしいなあ。昔、下小森には婦人会があって、バレーボールが強かった。



中野区長

■主要施設 電話番号

(市外局番はいずれも 096)

区分	名称	電話番号	開館・営業時間・内容等
文化・集会	生涯学習センター 山河の館	279-4425	▷平日 9時～17時 ▷休館日：土曜
	構造改善センター	279-2915	－
福祉	にしはら保育園	279-2054	▷保育時間 平日 8時30分～17時30分 土曜 8時30分～12時30分 ▷休園 日曜・祝・年末年始
	社会福祉協議会 のぎく荘	279-4141	▷月～土・祝(元旦除く) 8時30分～17時30分 ※サービス提供時間 9時～16時15分
	にしはら地域包括支援センター	279-4111	－
	たんぽぽハウス	279-3666	障がい者自立支援施設、地域活動支援センター
医療	永広医院(内科)	279-2222	▷平日 9時～13時、14時30分～18時(木・土は午前のみ)▷休診日：日・祝
	のむら内科クリニック	292-2250	▷平日 9時～12時30分、14時～18時(木・土は午前のみ)▷休診日：日・祝
	桑田歯科医院	279-3266	▷月火木金 9時～13時、15時～19時(水・土 9時～12時30分)▷休診日：日・祝
	赤尾歯科クリニック	340-4040	▷月～土 ▷休診日：日・祝
	熊本セントラル病院(大津町)	293-0555	▷月火水金 8時30分～11時30分、13時～17時▷土 8時30分～11時30分 ▷休診日：日・祝・年末年始
行政・公共	西原村役場	279-3111	－
	西原郵便局	279-2042	▷平日 郵便 9時～17時、貯金・保険 9時～16時
	小森簡易郵便局	279-3555	▷平日 郵便 9時～16時、貯金 9時～16時
	西原駐在所	279-2031	－
	益城西原消防署西原出張所	279-1190	－
	西原村商工会	279-2295	▷平日 8時30分～17時15分
	J A阿蘇西原中央支所	279-3222	▷窓口 8時30分～15時
	山西小学校	279-2004	－
教育	河原小学校	279-2506	－
	西原中学校	279-2003	－
	久保田自動車	279-2401	自動車販売・修理、中古車買取・販売
お店	笑家	279-4060	居酒屋
	あぜみち	279-3659	野菜直売所、花き店等
	長屋商店	279-3023	食品等の販売



笑家



あぜみち



久保田自動車



長屋商店

下小森の人がやっているお店

困ったら、隣近所の方や区長さんに聞いてみよう。



中西さん

区長さんと編集委員のみなさんで、下小森の「集落の未来」について、語り合いました。

■集落が一つになって取り組むと素晴らしい

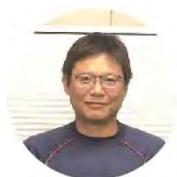


中野区長

ハード面はどんどん復興していくと思いますが、ソフト面では以前のような下小森になればいいですけどね。地震で仮設住宅になってバ

ラバラやけん。下小森も若い人に頑張ってもらいたいなあ。若い人が活躍することが大切と思う。将来、外部の人の力を借りないと公役ができなくなるかもしれない。集落みんながその気になって、集落全体で取り組むと、いろんな考え方・アイデアが出てくるかもしれないので、集落でそれが出来たら素晴らしいですね。

■下小森のみなさん笑顔で「Re: 出発？」



坂田さん

下小森って小集での繋がりが強いんです。下小森の中で移転する人たちもいるけど、特に若い人が残ってほしいです。今は若い人が集まる場は

消防団しかないけど、私も村外から入ってきて、消防団に入ったから、みんなと知り合えて繋がりができました。若い人には活躍してもらいたい。それが重要と思います。

今回、編集に携わることができて、改めて下小森のことを「Re: 発見」することができ、良いところを「Re: 確認」することができました。またここでも人の繋がりができ、皆さまに感謝です。このリーフレットや記録集が、いつかどこかで誰かに繋がるといいなあって思います。下小森のみなさん笑顔で「Re: 出発？」しましょう！



■みんなで楽しむふれあいカラオケ大会



平岡さん

毎年秋口にある「ふれあいカラオケ大会」は、若い人から高齢者までみんなで歌って踊って楽しいです。毎年司会をやっていて、司会の後任を募集中です！下小森に住んで11

年、まだまだ下小森のために頑張りたいです！

■「下小森下宿計画」やってみる？



中西さん

2月にあった上毛町・玄界島の視察会に参加しましたが、どちらもいい意味で行政に頼っていないというか、行政をあてにせず取り組んでいると思いました。行政は、住民に

対して公平平等を基本に考えざるを得ないですが、ある年齢層、ターゲットを絞ったまちづくりの戦略をしていました。行政ではこれはできない。そのあたりの民間の発想は目からウロコが出るぐらい新鮮でした。

これからの下小森について、私の立場からは、まずは宅地復旧や移転用宅地整備等のハード面の復興が最優先で尽力したいです。また、西原村の近くに大学が移転するかもしれないという話もあるので、その農学部の学生さんが西原村に入ってきてもらえたらいいなあ。熊本空港へのアクセス鉄道の検討も始まっているので、近い将来「JR 熊本空港駅まで10分」

と言えるかもしれないですね。西原村へ農家体験に来てもらうといいかも。いわば「下小森下宿計画」のようなもの。それができるといいですね。そのような受け入れ態勢をつくっていききたいですね。

Re: しもごもり

下小森の「再発見・再生・再スタート」の意味を込めて、
しもごもりの「リ」のやさしい響きを取って、
下小森暮らしを紹介するガイドブックのタイトルを
「Re:しもごもり」としました。

また明日

タイトル 西原村 下小森地区ガイドブック Re:しもごもり
発行日 平成31年4月
発行 西原村
編集 熊本県阿蘇郡西原村大字小森3259
下小森地区編集委員
PCKK・都市技術・地域計画連合設計共同体